

### 3.3.0.12 平磯太陽観測センター

#### 活動概要

宇宙天気予報分野における太陽・太陽風擾乱観測のための拠点として、業務管理グループ（2名）、上席研究員（1名）及び太陽・太陽風グループ（7名）が活動している。太陽光学望遠鏡及び太陽電波望遠鏡を運用し、日々の宇宙環境情報サービス、宇宙天気現象と予報技術の研究に活用している。さらに、本所の宇宙天気関連グループの協力の下に宇宙天気予報業務を実施した。平磯センターにおいては、予報業務のdutyの半分を受け持つとともに、情報発信のためのシステムであるテレフォンサービスシステム及び宇宙環境情報サービスシステムを運用している。

また、L5ミッションのための観測装置の研究開発及び太陽・太陽風計測技術の研究開発のため、クラス100の仕様のクリーンルーム設備を有している。これは、太陽光をクリーンルーム内に導入できるユニークなものである。

#### 活動結果（イベント、トピックス等）:

##### (1) 施設一般公開

8月4日に施設一般公開を実施した。当日は428人の来場者があり、予報センターや各種観測装置の公開、宇宙環境に関する解説等を実施した。太陽望遠鏡で実際の太陽黒点を観察できるコーナーは例年どおり人気であった（図1参照）。

##### (2) 太陽活動極大

太陽活動は2000年から2002年ごろに極大を迎えており、大型の太陽フレアや宇宙環境擾乱が頻発している。平磯センターでは、臨時的宇宙環境情報サービス等による情報提供のほかに、適宜マスコミ等へも情報を提供している（図2参照）。



図1 太陽望遠鏡による黒点観察（一般公開）

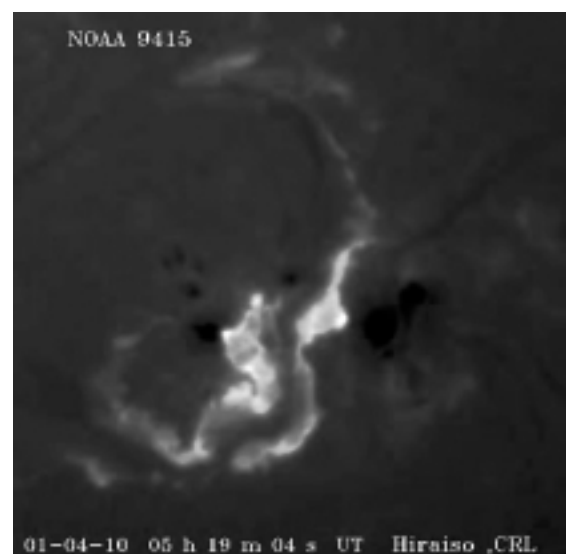


図2 平成13年4月10日のHフレア